

『ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を』 Engage Rotary Change Lives

RI会長 ロン D.バートン 第2590地区ガバナー 市川 緋佐磨



# 川崎中原ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKAHARA R.C. WEEKLY/2013~2014

会長・河合 東 幹事・市川 功一 会場監督・山本 剛 会報委員長・小泉 正博

事務所・〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104

TEL.044-722-7282 FAX.044-722-0066 E-mail:info@nakahara-rc.com

◆例会場 ホテル精養軒 木曜日 PM12:30~(第2週 AM7:30~) TEL:044-711-8855(東横線 武蔵小杉駅徒歩3分)

## 第1251回 (本年度26回)

平成26年1月23日(木)

### ロータリー 理解推進月間

点 鐘 河合 東 会長

司 会 山本剛 会場監督

斉 唱 「四つのテスト」

入会卓話 黒澤 穰 会員(職業分類:信用金庫)



本日は自分のことをお話したいと思えます。若干自慢話が入りますがご容赦ください。

私は昭和36年5月、川崎区の小田で生まれました。父は群馬県出身、兄弟の多い家庭だったため中学校を出てすぐに川崎

の日本鋼管に就職し、その関係で川崎区小田で育ちました。父は一昨年亡くなりましたが、よく言っていたことがあります。「自分は親から箸1本買って貰ったことがない。だけど家を持ち、家族を持ち、一生懸命働いてきた。子ども2人を大学まで出せたことが1番の誇りだ」と常々言っていました。父の楽しみは家で晩酌をすること、家族で旅行に行くことでした。私も家庭を持ち、父と同じように家族と食事をしたり、旅行に行くことを楽しく続けていきたいと思っています。

子供の頃は鍵っ子で、学校から帰るとグローブを持ってまた学校へ、毎日泥んこになって遊んでいました。そんな小学校2年生の時、そろばん塾に通うことになり、これはひとつの転機だったと思います。習い始めて1年で大会に出場しました。当時3年生ではなかなか出られない大会でした。その後も毎年出場、4年生の頃は暗算が得意となり、川崎市のお祭りで優勝！当時4年生での優勝は大変珍しく、周りに大人達がやって来て結構チャホヤされていました…。

中学生になるとバスケットボール部に入部、身長は148cmと小柄のためポジションはガードと言って守りを中心にやっていました。バスケットボールが楽しく、そろばんの方は中学2年生の時に辞めてしまいましたが、最後に商工会議所の大会で優勝することができ、自分なりに満足しています。中学時代に身長が20cm伸びましたが、それでも168cm、新城高校に進学、バスケットボー

ル部に入部、まだガードでした。高校を卒業する頃には180cmになり、大学に入ると毎年1cmずつ伸び184cmになりました。当時の高校時代の先生に「3年早く背が伸びていればチームのスターだったな」と言われたことを覚えています。大学時代は新城高校のバスケットボール部のコーチをしていました。大学は学費も高く、小遣いくらいはバイトでと考えていたので、引受けるかどうか悩み父に相談しました。すると「自分がやると思ったのなら頑張りなさい」と背中を押してくれたことを今でも忘れません。バスケットボールの練習に授業を合わせてとり、月水金と練習、土曜日曜日も試合があれば行き充実した日々を送りました。自分が教えた後輩、教わっていた先輩といまだに付き合いがあり、幅広い年代でOB会を行う。そういう仲間がいるというのは大変有難いことだと思います。

大学卒業後、川崎信用金庫へ就職しました。数学はあまり得意ではないのですが、数字を並べて足したり引いたりするのは好きなので金庫の仕事は苦ではありません。最初に配属されたのは大師支店でした。大師支店をご存知の通りお正月は休めません。働いた分お給料は出るのですが、お休みがなく過酷な労働を強いられる店と言われていました。毎日早出し残業、本当にクタクタになりましたが、若かったから良かった。今だったらとてもじゃないけど勤まりません。大師支店には6年いましたので、青春はとても忙しく終わってしまいました。

しかし今のお嫁さんをそこで見つけたので悪くはなかったと思います。30年間毎年、私の仕事始めは大師支店です。大師に行くと私の1年が始まったと感じます。

転勤を繰返し、武蔵小杉支店が10店舗目。川崎信用金庫は本店が1番、2番が大師支店、3番が武蔵小杉支店、4番目が高津支店となっており、2, 3, 4番目の3店舗を御三家と呼んでおります。武蔵小杉支店は再来年の4月に創業70周年を迎えます。ここにいらっしゃる大先輩方、私が生まれる前から、また会社に入る前から我が社と取引いただいている方が多数いらっしゃる。そんな歴史ある有難いお店です。御三家のひとつ武蔵小杉支店に配属され、地区の古いお客様やロータリーの皆様、色んな方とお知合いになれるチャンスをいただきました。川崎で生まれたからには、ずっと川崎で働き、川崎のために少しでもお役に立てればと思っています。お客様とお付き合いして「有難う」「助かったよ」「感謝してるよ」と言われる、そういうことが1つでもあれば、1人でも多くのお客様と接することが出来ればと、今でも頑張っている。定年まであと7年、ただ業績を上げるのではなく、様々なことを後輩達に伝え、また自分も先輩方に教わりながら頑張っていきたいと思っています。

## 会員出席報告

戸張 裕康 親睦委員長

本日	会員数	出席	欠席	出席率
	22名	18名	4名	90.00%
前々回(1月9日)欠席4名		Make up 0名		90.00%

本日の欠席者： 都倉八重子会員・高瀬建夫会員

## ニコニコ報告

戸張 裕康 親睦委員長

### 河合 東 会長・市川 功一 幹事

大寒が過ぎて立春までが一年で一番寒い時期です。皆様くれぐれもご自愛下さい。今日は待望の黒澤会員の入会卓話、楽しみにしています。

### 黒澤 穰 会員

本日は、入会卓話の機会を頂きありがとうございます。皆様とこれからも明るく楽しく交流していきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

### 戸張 裕康 会員

先日、エレキギターをやっている次男のLIVEに藤沢まで行って来ました。色々のバンドが出ているので1曲でしたが、何か嬉しいのと、ちょっと成長しているのがさみしいななんて最近思います。

### プログラム委員会

黒澤さん本日の入会卓話宜しくお願いします。楽しみにしています。

### SAA一同

晴れたり雪がちらついたり温暖の差が気になります。皆さんご自愛して下さい。元気で寒さを乗り越えましょう。

### 「みんなニコニコ」黒澤支店長待ってました！！！！

原 秀元 会員・松川 正二郎 会員・若狭 滋則 会員  
田辺 清夫 会員・鈴木 次男 会員・会田 公雄 会員  
小泉 正博 会員・小林 克司 会員・山田 一之 会員  
小林 正樹 会員・

ニコニコボックス	本日	16,000円	累計	477,000円
記念日ニコニコ	本日	0円	累計	45,000円

## 「21世紀の職業奉仕への提言」 2650地区 GN 刀根 莊兵衛 (敦賀)

ロータリーの職業奉仕理念を構築したのはアーサー・フレデリック・シェルドンであります。彼によれば、事業が継続的に発展するためには、自分の儲けのみを考えるのではなく、まず他人のためという意図を持って事業を営み、従業員や仕入業者などと利益を分かち合うことが唯一の繁栄の方法だということでした。この思想は、弱肉強食の初期の資本主義の時代であって、来るべき20世紀の修正資本主義を先取りした、極めて斬新な考え方であったということでした。1916年ガイ・ガンデッカーによって纏められた当時のロータリー教科書であった『ロータリー心得』によれば、ロータリークラブの4つの目的は、第1に個々の会員の向上、第2に会員企業の実践と理念の向上、第3に所属業界の向上、第4に家庭、地域社会、延いては社会全体の向上と記されております。特に第2の目的は、企業活動として、シェルドンの提唱する正しいビジネス・メソッドの実践と高い倫理基準の普及を目指すものであったと理解いたしております。ただ、シェルドンの退会と共にロータリーの職業奉仕理念は大きく変貌し、ビジネス・メソッドから天職論を念頭に置いたポケーショナル・サービスへ、更には倫理道德運動に発展していったように思います。そして近年では、ロータリーの職業奉仕は、職場における高い倫理基準を促進したり職場訪問をするだけでなく、若者の職業

指導や支援、就職相談、小規模起業家支援、優良従業員表彰、自分の職業におけるボランティア活動などへ変遷し、およそシェルドンが掲げた初期の理念とは懸け離れたものになってきたように思われます。このようなところに、日本のロータリアンの考える伝統的な職業奉仕と世界のロータリアンの考える職業奉仕の考えの隔りがあるように感じております。日本では、江戸時代より論語などに基づいた教育によって、梅岩や近江商人に代表されるような高度に倫理的な職業理念が浸透していったように思います。そして、それは商売を『商売道』という高い境地にまで昇華させていき、その結果「職業を通じて自己を磨き、職業を通じて世の中に役立つ」と言う日本人の独自の職業観が形成されていったように思います。また、このような日本人の職業観は偶然にも、シェルドンの「奉仕理念」“He profits most who serves best.”とも合い通ずる考え方もありました。しかも驚くべきことは、この日本人の職業観がシェルドンによるロータリーの奉仕理念を発表する300年前にすでに定着していたことであり、いまなお多くの日本のロータリアンがシェルドンの理念に共鳴するのは、そのような下地があったからではないかと思えます。ところで、フランスの経済学者・思想家であるジャック・アタリ氏は現在の市場民主主義経済が21世紀中ごろには理想的な超資本主義経済に到達すると予言しています。また、アタリ氏は収益が最終目的でない愛他主義の調和重視企業が21世紀のあるべき企業の価値観だと述べています。さらに、バングラデシュで「貧困なき世界をめざす銀行家」と謳われるグラミン銀行総裁のムハマド・ユヌス氏(2006年ノーベル平和賞を受賞)も現在の資本主義のありかたが、人々の心を荒ませていると指摘しています。ユヌス氏は、人間のもう一面であるセルフレス(無私)の心で、個別の利益を超えて、全体の利益を図れば、人類が繁栄し、結果的に個人も発展するとこれからの企業のあるべき姿を説いています。いわゆる共生と言う考え方であり、お二人に共通する未来像は、21世紀の企業は自社の利益のみを追求するのではなく、社会全体の利益を目指し、社会貢献という理念のもとで行動する、そして株主は金銭の配当(金銭的 Profit)を求めるとはならず、心の配当 Profit を得ることで満足する世の中になると言うことになります。現在、21世紀の世界経済はお金や物や人が自由に移動することができるグローバル社会とされています。同志社大学 浜矩子教授によれば、本当のグローバル社会は、自由競争で一握りの強い者だけが栄えて、貧困層だけが広がっていく弱肉強食の格差社会ではなく、むしろこのような古臭いグローバル経済像から抜け出し、多様な個性と機能を持ち寄って共に支えていく進化した社会になると言うことになります。そして、それはちょうどジャングルにたとえられると言うことです。ジャングルでは百獣の王のライオンから小動物たち、草木、果てはバクテリアまで生きています。強いものは強い者なりに、弱い者は弱い者なりに、多様な個性と機能を持ち寄って、生態系を支えている。これが本当のグローバル社会なのだと言教授は主張されます。

さらに、21世紀では“SHARE”の意味が20世紀とは全く180度違ってしまう時代とのことでした。すなわち、20世紀の経済の“SHARE”は市場占有率を意味し、21世紀のグローバル時代(成熟経済)では“SHARE”は『わかちあい』を意味するということになります。昨今、行き過ぎた市場主義経済のもたらした100年一度と言う大きな経済危機の中で、ロータリーこそが21世紀にふさわしい職業奉仕、つまり『わかちあい』の心を持って、利益を最終目的としないソーシャル・ビジネス型の実践モデルを新しいロータリーの職業奉仕として世界に提言すべき時ではないかと考えております。

(ロータリーの源流：ロータリアンの広場より)